

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 岐阜県立羽島特別支援学校 学校運営協議会 (第3回)
- 2 開催日時 令和4年2月18日(金) 書面開催による意見書回収日
- 3 開催場所 書面開催
- 4 参加者
委員
味岡 巖 大浦区長
平井 崇広 万灯会 まさき園施設長
豊島 裕香 羽島市主任児童委員
野川 裕史 長谷虎紡績株式会社 総務部長
坂倉 恒充 グランド川村店主
杉山 寛絵 P T A会長

学校側
奥村 哲也 校長
関谷 博子 事務部長
広井 隆司 教頭
山口 幸乃 教頭
井川 匡 小学部主事
由井 真紀子 中学部主事
水野 裕子 高等部主事
川村 敏之 生徒指導主事
樋口 将太 生徒会会長
北川 姫希 生徒会副会長

5 会議の概要(協議事項)

(1) 生徒会活動、学校生活の紹介(生徒からの声)

意見1: すばらしい活動である。コロナ禍であるので、オンライン会議で他校との交流も考えるとよい。

意見2: 今年度の生徒会活動がよく分かる資料であった。生徒達でステキな学校づくりを目標に頑張っており、取り組みが評価できる。今後も意見を踏まえて取り組んでほしい。

意見3：生徒会活動やその取組を知ることができるよい資料であった。普段の参観とは違った生徒の姿を垣間見ることができた。

意見4：コロナ禍で活動内容に制限がある中、アイデアを出し、形にしていることは素晴らしいと感じた。

(2) 自己評価・学校関係者評価

意見1：学校も地域もコミュニケーション能力を高めたい。

意見2：感染症対策は、その都度検討を重ねなければならない大変な業務ではあるが、学校は迅速な対応をされ、評価している。今後も、授業等の継続ができるように対策を重ねてほしい。

意見3：状況が安定せず変わり続けるコロナ禍の中、柔軟な対応をされていると感じている。

(3) 体育施設の開放について（再）

特記なし

(4) 標準服の扱いについて（再）

意見1：他の小学校においても服装の規定について意見が出てきていると聞くので、今後委員会で検討し、良い方向にもっていけることが望ましい。

意見2：当事者である生徒や保護者の方々の意見も重要である。検討するにあたって、各方面から意見を集める必要があるのではないかと感じた。

意見3：制服、私服共に、生徒が望む服装で学校生活を送る環境になれば素晴らしいと思う。20年以上前の話ではあるが、私の姉は「この学校の制服が好きだから」という理由で高校を選んでいた。「服装についての環境」というのは、それだけでも学校の魅力の1つになると思う。

意見4：卒業後には制服を着ないので、その制服を在校生に譲るなどリサイクルして、高額な購入に悩まれている方に着ていただきたい。

(5) 学校の感染症対策

特記なし

(6) その他、学校への意見・要望等

意見1：コロナ禍で地域と一体になった活動ができず残念である。

意見2：学校生活の紹介の中に牛乳パックの回収が紹介されているが、回収した牛乳パックは業者に買い取っていただいているのか。もしも、買取をいただいているのであれば、地域の企業にも回収のお手伝いを依頼してはどうか。

意見3：横断歩道で止まってくださる職員が以前より明らかに増えた。職員への交通安全の啓蒙をしていただき、感謝している。

6 会議のまとめ

- ・第3回学校運営協議会では、「生徒会活動、学校生活の紹介」「自己評価・学校関係者評価」「体育施設の開放について」「標準服の扱いについて」「学校の感染症対策」、以上全ての委員より承認を得られた。
- ・今回は、生徒会を中心にして生徒自らが作成したプレゼンテーション資料をもとに生徒会活動及び学校生活の紹介をした。令和4年度は、当初予定していた参加型会議における生徒による発表を是非実現し、児童生徒が参加する羽島特別支援学校の学校運営協議会へと発展させていきたい。
- ・まだコロナ禍も続くと想定される中、感染対策の危機対応を継続する上で、あらゆる方法で学びや地域との交流の充実等、多方面の意見をもとに具体的な改善を進めていきたい。